

## 会議等議事要旨記録票

日 時	令和3年7月6日（火曜日）午後3時00分から午後4時00分まで		
場 所	30S会議室（Web会議）		
会議等名	感染制御チーム会議		
議 題	高齢者施設向けコロナ対策事例集の作成等について		
参 加 者	賀来座長、チームメンバー、福祉保健局関係部長・課長等		
配付資料	別紙のとおり		
主な内容	<p>●<b>高齢者施設向け「事例集」の作成について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局で事例を7項目に分類した。先生方に各項目を受け持っていただき、重要な事例を選定して原稿案の作成をお願いします。</li> <li>・イラストは良い例と悪い例を共に載せて対比するなど、事例によって工夫が必要。</li> </ul> <p>●<b>現状の感染状況と対策について意見交換</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人流抑制は感染防止に効果があるが、現状の呼びかけだけでは行動制限につながりにくい。これまでにない対策を打ち出すことや、テレワークや学校のリモート授業の徹底などで、感染者数をもう少し抑制できるのではないか。</li> <li>・二次感染は、家庭内が一番多く次は職場が多い。職場での感染対策の充実が必要。</li> <li>・職域クラスターの発生状況を労災データ等を用い、第三者的に評価できるとよい。</li> <li>・デルタ株は感染力が高いと言われており、単にマスク着用というだけでなく、マスクの正しい着け方も啓発していくことが必要ではないか。</li> <li>・低コストの抗原検査が可能であれば、相当な数の検査をやれば、職場でも多数の陽性がでる可能性がある。テレワークが難しい職場等に積極的に検査機会を拡充できるとよい。また、街角で抗原検査ができる仕組みがあれば、若い人たちも検査を受けてくれると思う。</li> <li>・宿泊療養者が増加している傾向があるが、宿泊療養が定員に達すると、病院での療養者が増え、結果、医療体制の逼迫につながるのではと危惧している。</li> <li>・ワクチンは、デルタ株の感染力を考えると、若い人への接種が大事だが、接種促進のためには、正確な情報や前向きなメッセージを発信することが重要で、インセンティブを与える案も考えられる。一方、ワクチンを打たない人への配慮も必要。</li> <li>・最近のワクチン不足の報道に関しては、今後の接種可能時期や、高リスクな40～50歳代への優先接種などのメッセージが出していけるとよいのではないか。</li> </ul>		
作成者	計画課 寺島	確認者	東京感染症対策センター担当 課長 古嶋